

「埼玉砂防100年シンポジウム」を開催しました。(H28.10.22(土))

概要

埼玉県では、今から100年前の大正5年(1916年)に赤平川・吉田川・都幾川の3溪流において砂防事業に着手、現在も県内において砂防事業を進めています。

今年、砂防事業に着手から100年の節目の年を迎え、今後の土砂災害への対応や防災情報のあり方、建設技術者の担い手の確保等が課題となっています。そのため幅広い視点から討議を行い、土砂災害への理解を深めるために「埼玉砂防100年シンポジウム(現地見学会・防災セミナー)」を開催しました。

「埼玉砂防100年シンポジウム」

○午前の部 ～現地見学会「100年前の砂防施設とダム」：参加者48名

9:30 集合(秩父市役所歴史伝承館前駐車場)



集合状況



彩の国砂防ボランティア協会 浅見会長挨拶

9:40 出発

10:20 栗沢砂防堰堤群・砂防100年の碑(秩父郡小鹿野町飯田地内)



「埼玉の砂防発祥地」記念碑説明



昭和9年施工 砂防堰堤(練石積)説明



大正5年施工 砂防堰堤(切石積)【100年前の堰堤】

11:20 合角ダム(秩父市上吉田地内)



ダム概要説明



現地見学会参加者集合写真



ダム堤体上での昼食

13:00 到着(埼玉県立秩父農工科学高等学校)

○午後の部 ～防災セミナー「これからの砂防を考える」：参加者290名

13:00 開 場(埼玉県立秩父農工科学高等学校)

13:30 開 会 総合司会/池田未来(気象予報士・キャスター)

13:30 オープニング

埼玉県立秩父農工科学高等学校 吹奏楽部・秩父屋台囃子保存部による演奏



吹奏楽部演奏



吹奏楽部パフォーマンス



秩父屋台囃子保存部演奏

14:00 挨拶 久喜邦康氏（埼玉県治水砂防協会会長・秩父市長）
西山幸治氏（国土交通省砂防部長）
浅井義明氏（埼玉県県土整備部長）



久喜邦康 埼玉県治水砂防協会会長・秩父市長 挨拶



西山幸治 国土交通省砂防部長 挨拶



浅井義明 埼玉県県土整備部長 挨拶

14:15 基調講演① 岡本正男氏（(一社)全国治水砂防協会理事長）
「土砂災害を知る・備える・行動する」

15:00 基調講演② 寺川奈津美氏（気象予報士・キャスター）
「気象災害から身を守る」



岡本正男氏 基調講演①



寺川奈津美氏 基調講演②

基調講演①：岡本氏

「一刻も早く安全な場所に逃げるのが大事」

「行政の知らせる努力と住民の知る努力の双方が不可欠」

基調講演②：寺川氏

「最終的に自分の命を守るのは自分」

「皆さんがリーダーシップを発揮して、防災意識の高揚を」

15:50 パネルディスカッション「土砂災害から身を守るために」



久喜邦康氏：「人命第一で早めの避難指示が大切」

西山幸治氏：「土砂災害で命を落とさぬよう行政と住民が力を合わせる事が大切」

檜垣大助氏：「避難する経路や避難場所をきちんと理解することが重要」

奈良岡希美子氏：「話す雰囲気や危険が迫っているのを理解してもらうことが大切」

三上幸三氏：「警戒区域の指定、ハード対策、ソフト対策の「3本の矢」を実施中」

新井伸二氏：「歴史を後世に伝えるために伝承にも力を入れている」

岩谷忠幸氏：「自分たちの地域は自分たちで守っていく。それが大切」

17:10 閉会 総合司会／池田未来（気象予報士・キャスター）

終わりに

○多くの皆様にご参加をいただき、有難うございました。

○砂防事業は次の100年に向けて歩み出しました。引き続き、ご支援・ご協力をお願いします。